①本編資料

2027年3月期
第2四半期決算説明会資料
（本編）

2026年11月13日
大平洋金属株式会社

当社ホームページ
https://www.pacific-metals.co.jp/
お問い合わせ先
総務部（IR担当）TEL:03-3201-6681

大平洋金属株式会社

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

2027年3月期　第2四半期決算説明会資料（本編）

- 第1章　2027年3月期　第2四半期決算実績　p.3～6
- 第2章　2027年3月期　通期決算見通し　p.7～9
- 第3章　「中長期戦略PAMCOvision2031」の進捗状況　p.10～17
- 第4章　付録　p.18～20

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

第1章
2027年3月期　第2四半期決算実績

2027年3月期　第2四半期決算実績

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

大平洋金属株式会社

1．サマリー

	2025.9 実績		2026.9 予想（8/6発表）		2026.9 実績		対前年同期比（%）	対8/6発表予想比（%）
	金　額（百万円）	利益率（%）	金　額（百万円）	利益率（%）	金　額（百万円）	利益率（%）		
売上高	4,463	—	5,356	—	5,449	—	22.1	1.7
営業利益（△損失）	△4,042	△90.6	△3,983	△74.4	△4,009(*)	△73.6	—	—
経常利益（△損失）	△1,086	△24.3	△754	△14.1	957(*)	17.6	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益（△損失）	△1,095	△24.5	△958	△17.9	645(*)	11.8	—	—
（投資額）	246	—	—	—	46	—	△81.3	—
（減価償却費）	193	—	—	—	150	—	△22.3	—

(*)棚卸資産の簿価切り下げ額
13億円を含む
（2026.9 実績）

	2025.9 実績	2026.9 予想（8/6発表）	2026.9 実績	対前年同期比（%）	対8/6発表予想比（%）
生産数量（Niﾄﾝ）	1,787	1,616	1,763	△1.3	9.1
販売数量（Niﾄﾝ）	1,890	1,810	1,844	△2.4	1.9
適用LME（US$/ﾄﾝ）	15,322	17,857	17,835	16.4	△0.1
[適用LME（US$/lb）]	[6.95]	[8.10]	[8.09]		
適用為替（¥/US$）	147.83	159.30	159.51	7.9	0.1

【フェロニッケル販売割合（実績）】
・国内向け：94%
・台湾向け：　6%

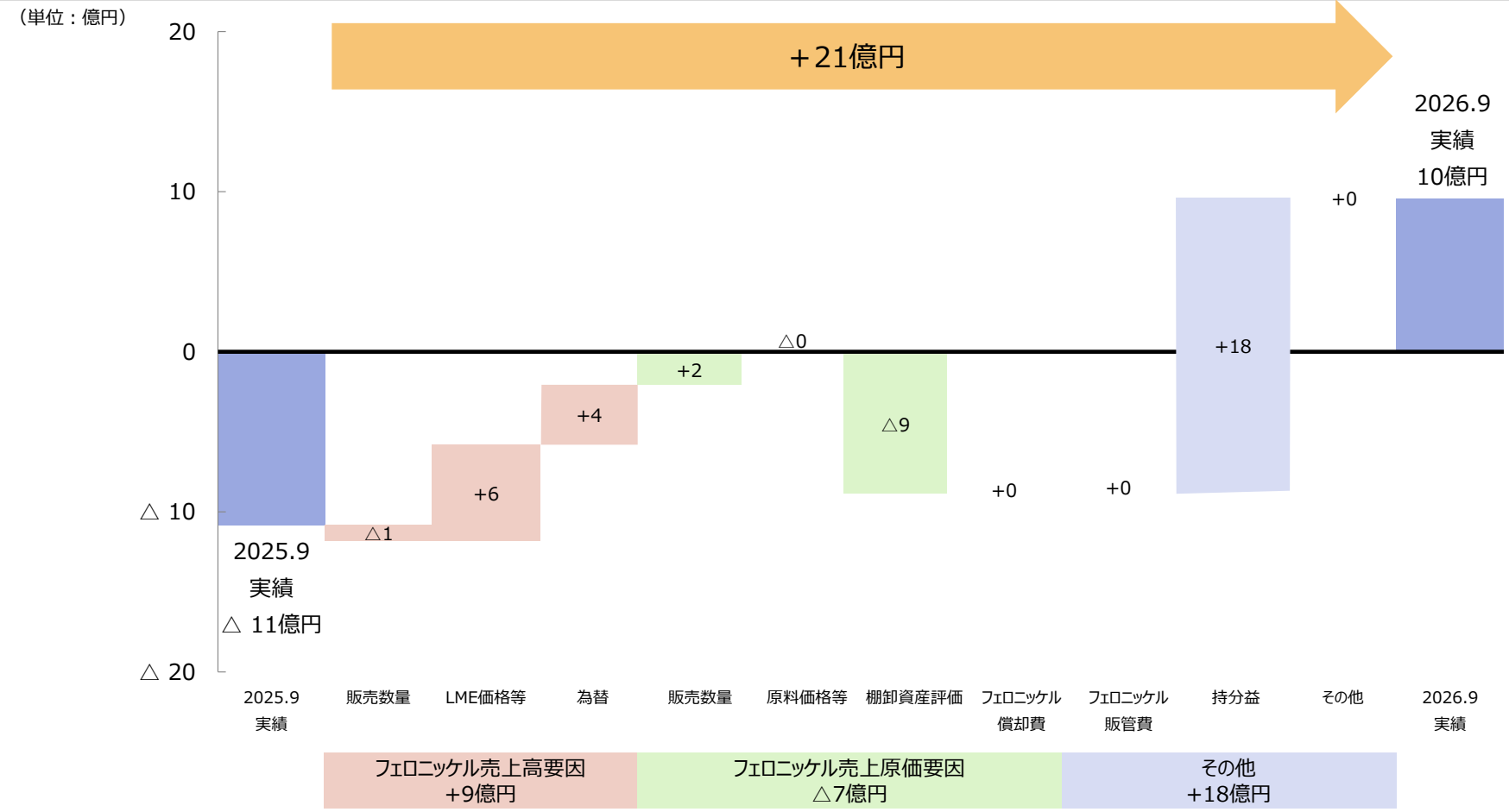
Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

2．トピックス

ステンレス鋼業界	• 中国において、内需を主因とする低迷が深刻化している一方でステンレス鋼の生産は高水準を維持 • 需給ギャップの拡大を背景に過剰輸出が進行、各国の市況へ強く影響
フェロニッケル需要	• 価格優位性の見られるニッケル銑鉄（NPI）へ調達がシフト • カーボンニュートラルを意識したステンレススクラップ配合比率見直しもあり、厳しい販売環境は継続
調達面	• ニッケル鉱石価格：インドネシア政府の企業予算作業計画（RKAB）削減の影響もあり価格高 • 諸原燃料価格：世界的に高水準が継続
LMEニッケル価格	• インドネシア政府の企業予算作業計画（RKAB）削減の影響もあり、一定の価格帯の中で上下を繰り返す推移
フェロニッケル販売数量	• 一定の収益性を損なわない戦略的な数量抑制方針を継続 • 在庫を含め業績に与える影響を踏まえた総合的かつ機動的な販売体制 • 前年同期比2.4%の減少
フェロニッケル販売価格	• 当社適用平均為替レートは前年同期比7.9%の円安 • 当社適用LMEニッケル価格は前年同期比16.4%上昇

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

3．連結経常損益分析



Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

第2章
2027年3月期　通期決算見通し

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

1．サマリー

	2026.3 実績		2027.3 予想（8/6発表）		2027.3 予想（10/29発表）		対前期比（%）	対8/6発表予想比（%）
	金　額（百万円）	利益率（%）	金　額（百万円）	利益率（%）	金　額（百万円）	利益率（%）		
売上高	9,414	—	10,618	—	11,188	—	18.8	5.4
営業利益（△損失）	△4,971	△52.8	△6,185	△58.3	△6,035	△53.9	—	—
経常利益（△損失）	3,323	35.3	698	6.6	1,831	16.4	△44.9	162.3
親会社株主に帰属する当期純利益（△損失）	2,610	27.7	134	1.3	1,321	11.8	△49.4	885.8
（投資額）	435	—	—	—	303	—	△30.3	—
（減価償却費）	352	—	—	—	306	—	△13.1	—

	2026.3 実績			2027.3 予想（8/6発表）	2027.3 予想（10/29発表）			対前期比（%）	対8/6発表予想比（%）
	上期	下期	通期		上期実績	下期予想	通期予想		
生産数量（Niﾄﾝ）	1,787	1,828	3,615	3,115	1,763	1,643	3,406	△5.8	9.3
販売数量（Niﾄﾝ）	1,890	2,072	3,962	3,600	1,844	1,956	3,800	△4.1	5.6
適用LME（US$/ﾄﾝ）	15,322	15,168	15,234	17,747	17,835	16,601	17,196	12.9	△3.1
[適用LME（US$/lb）]	[6.95]	[6.88]	[6.91]	[8.05]	[8.09]	[7.53]	[7.80]		
適用為替（¥/US$）	147.83	153.62	150.87	157.66	159.51	157.94	158.70	5.2	0.7

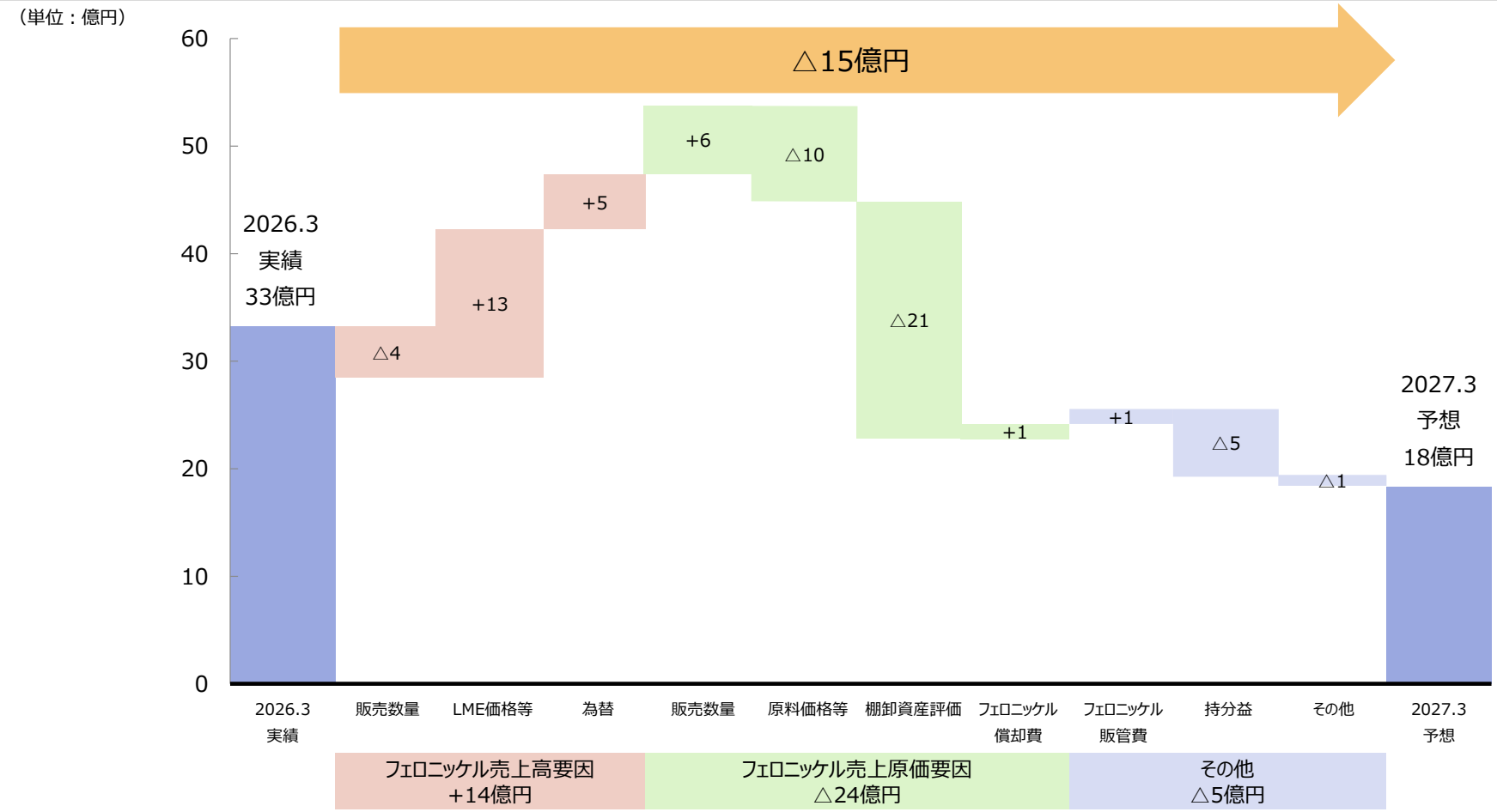
【フェロニッケル販売割合（見通し）】
・国内向け：97%
・台湾向け：　3%

2027年3月期　通期決算見通し

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

大平洋金属株式会社

2．連結経常損益分析



Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

第3章
「中長期戦略PAMCOvision2031」の進捗状況

「中長期戦略PAMCOvision2031」の進捗状況

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

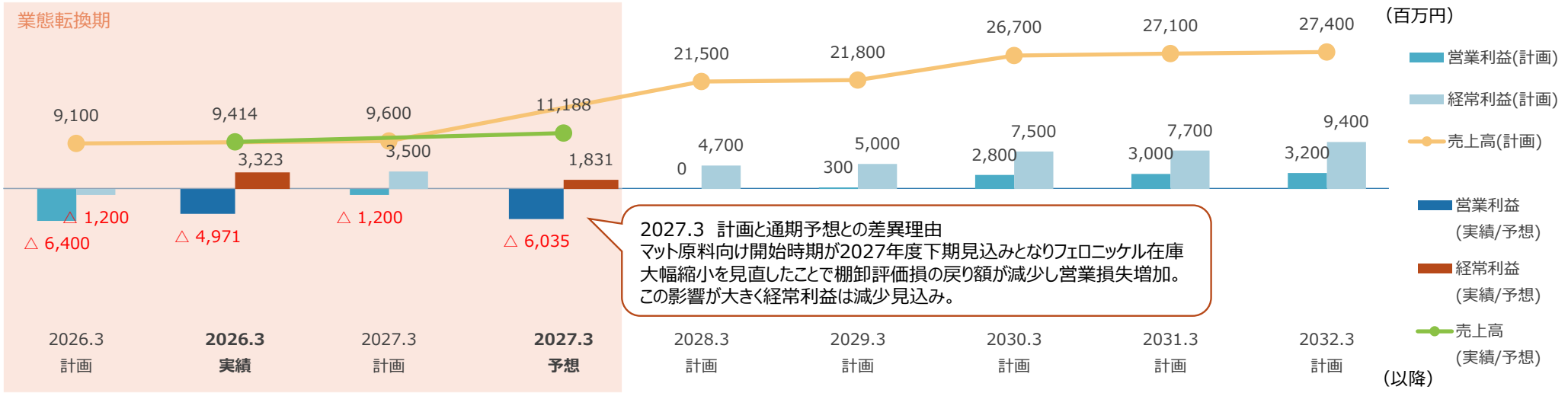
1．事業ポートフォリオ再構築について

	「中長期戦略PAMCOvision2031」の事業戦略	2027年3月期第2四半期の進捗状況（まとめ）	
金属製錬事業	・ニッケル事業は、**ステンレス原料向けの事業からマット原料向けに用途を拡大、転換も視野**に、事業損益の大幅改善を目指す ・また、資源製錬時に大量消費する**エネルギー関連基盤**は、新規事業においても活用することから、**速やかな利用とともに途切れない体制を維持**する ・多金属ノジュール事業は2030.3期から本格稼働、そのため、2026.3期～2027.3期の一定期間は業態転換のため業績の改善はスロー	（マット原料向け）販売条件主要条件の合意 （多金属ノジュール）資源ソース多角化への取り組み推進	P13
小売電気事業	・小売電気事業者として、高圧・特高圧事業者向けの小売電気事業を立上げ、電気事業分野への進出を目指す ・地域の発電事業者と連携し、**付加価値の高い地場の再生可能エネルギー発電による電力を供給**する	複合的な取り組みを展開 需給調整市場への参画	P14
ベリリウム事業	・MiRESSO社の革新的な製錬技術による製造コストダウン及びEV拡大を背景に、エレクトロニクス用途の需要拡大が見込まれる ・MiRESSO社との包括的業務提携を締結、当社リソースを活用するとともに当面出資参画 ・**ベリリウム合金市場向け事業に参入**し、将来的に**核融合市場向け事業への事業参画・参入**を目指す	MiRESSO社との共同体制の構築 パイロットプラントの建設開始	P15
カルシウムアルミネート製造販売事業	・**高炉の電炉化により、脱硫材・造滓材としてのカルシウムアルミネートの需要拡大**が見込まれる ・アミタHD社との協業によるカルシウムアルミネート製造販売事業を立上げ、環境リサイクル事業を目指す ・**これまでの事業で培った技術を利活用**し、リサイクル原料の付加価値化を図る ・低炭素社会を背景に高炉から電炉へシフトする中、電炉鋼の不純物除去に必要なカルシウムアルミネートの需要拡大に対応する	着実な生産・販売の実施 2026年度通期売上見込み 140百万円	P16

「中長期戦略PAMCOvision2031」の進捗状況

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

2．７カ年損益サマリー



金属製錬事業
フェロニッケル・マット原料 → 多金属ノジュール受託製錬

小売電気事業
構築期間※ → 小売電気事業による電力販売
※構築期間：外販条件交渉期間のため、一定額の収益に限られる見込み

ベリリウム事業
出資・設備投資
2028.3期：ベリリウム合金市場向け事業
2032.3期：核融合市場向け事業
核融合発電の社会実装が見込まれる2036.3期までに投資回収が可能
2032.3期までのリターン見込 1,500百万円

カルシウムアルミネート製造販売事業
2026.3期より事業化
高炉の電炉化により需要の拡大を見込む ※2025.3期比プラス16,000t
2032.3期以降も需要の増加が見込まれる
2032.3期までの営業利益見込 162百万円

「中長期戦略PAMCOvision2031」の進捗状況

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

3．各事業の進捗状況

金属製錬事業

ニッケル事業（マット原料向け事業）

◆フェロニッケル事業の損失抑制へ
・大規模な設備投資を伴わない事業の多角化にて現行のフェロニッケル事業の損失は抑制傾向へ

◆ニッケルリサイクル資源の活用へ
・集荷目標3,000Ni.t弱のニッケルリサイクル資源について概ね調査完了

◆販売先との協議状況
・当社の強みである「安定した高品質の生産体制」を背景に、マット原料向け粗フェロニッケルの**販売先企業と販売主要条件を合意**

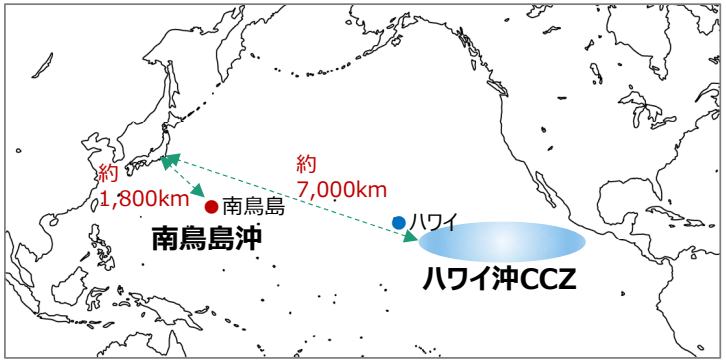
◆生産開始見通し
・**2027年度下期からの生産開始**を目指す

多金属ノジュール受託製錬事業

◆投資意思決定の判断時期
・採掘規則が整備され次第、製錬設備改造投資の意思決定の判断を行う

◆資源ソースの多角化へ
・資源ソースの多角化に向け、**ハワイ沖CCZ日本鉱区**を保有し開発を計画する**深海資源開発株式会社**から委託を受け、**製錬技術調査**に参画

・**東京大学**との連携にて、東京都の「GX関連産業創出へ向けた早期社会実装化支援事業」に採択。**国産（南鳥島沖）**ニッケル・コバルト資源開発に向け、**多金属ノジュールの製錬実証試験**を開始。



資源ソースのイメージ図

「中長期戦略PAMCOvision2031」の進捗状況

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

3．各事業の進捗状況

小売電気事業

外販の状況

・電力販売のみならず**顧客の電力に関する課題を解消する支援等**の複合的な取り組みを展開
・顧客の電力使用状況の分析や電力市況を踏まえた継続的な情報提供
・電力供給に加え、**電気保安業務を含めた包括的なセット提案**によるコスト削減支援

需給調整市場に参画

・需給調整市場に対して自社・他事業者リソースによる**調整力供出体制の構築を推進**
・自社製造プロセスにおける需要調整を活用した**需要抑制型VPPを構築し、先行実施、国内最大級となる40MW超の安定的な調整力**供出を実現
・他事業者の設備運用によるアグリゲータとして将来性豊かなビジネスモデルを展開

再エネ供給体制

・**地産地消型再生可能エネルギー**を供給し、脱炭素社会に貢献
・具体的な再エネ電力供給源として**青森県内の風力発電所を対象としたフィジカルPPA(※)を締結し、10月より再エネ電力の供給を開始**
・地域に根差した再エネ電力の地産地消を推進

(※)フィジカルPPA：再生可能エネルギー発電事業者から実際の電力と環境価値をセットで直接購入する契約形態



再エネ電力供給のスキーム

「中長期戦略PAMCOvision2031」の進捗状況

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

3．各事業の進捗状況

ベリリウム事業

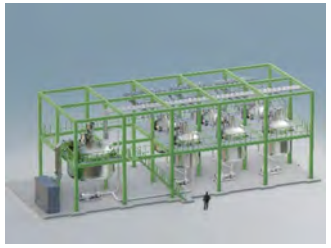
パイロットプラント「BETA」（※）

◆当社との共同体制
・当社からプラントエンジニア3名が出向し、**BETAの設備検討及び設備工事を共同体制で進めており、**BETAの製造員の出向も含め、**より強固な共同体制構築に向け協議中**

◆2027年上期より一部稼働開始予定
・**新たな低温精製技術のパイロット実証を一部開始予定**

◆パイロット実証
・BETA稼働後、試運転から最適化し、**定常運転へはおおよそ1年程度を想定**
・定常運転時においては、**Be金属換算で約２トン/年を目指す**

◆2028年上期より製造フェーズへ移行を目指す
・**製造試験を経て、ベリリウム中間製品の製造を開始予定**



（※）MiRESSO社のベリリウム製造パイロットプラント（Beryllium Testing plant in Aomori）当社製造所内に建設

ベリリウムの生産へ

◆核融合発電向けベリリウムの量産化へ
・**2031年度以降にMiRESSO社での年100トン規模の量産プラント建設を予定**

◆ベリリウム銅母合金の生産へ
・ベリリウム生産は核融合発電向けを主とするが、幅広い用途で活用可能
・自動車、エレクトロニクス等に向けたベリリウム銅母合金の生産のための試験製錬を進行中

MiRESSO社のシリーズA資金調達ラウンド完了

◆当社による第三者割当増資の引き受け
・2025年7月29日、株式会社MiRESSOとの資本業務提携契約の締結および第三者割当増資（シリーズA）15億円の引き受けの実施

◆シリーズA資金調達ラウンドの完了
・MiRESSO社が複数投資家を引受先として実施するシリーズA資金調達ラウンドに参画し、総額42.3億円のシリーズA資金調達ラウンドを完了

「中長期戦略PAMCOvision2031」の進捗状況

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

3．各事業の進捗状況

カルシウムアルミネート製造販売事業

事業開始

◆本格的な事業開始

・当社の長年培ったリサイクル原料の電気炉製錬技術を活用し、2025年度下期より、本格的に製造販売事業を開始

・アミタHD社との協業にて、アミタHD社のネットワークを活用し、日本全国の脱硫材・造滓材用途の顧客に対し販売を展開中

◆製造の状況

・2026年度は約2,800tの生産を見込む

・当面は販売状況に見合った生産体制とし、市場動向を注視

・将来的には、低炭素社会を背景とした高炉から電炉へのシフトに伴う脱硫材・造滓材需要の増加を取り込み、フル生産の7,000t体制を目指す

◆販売の状況

・2026年度は15社への販売を通じ、140百万円の売上を見込む

・国内外から供給される競合品との差別化を図り、品質優位性を訴求した販売活動を展開

・定期購入先の獲得を推進し、安定的な販売基盤の構築を目指す



カルシウムアルミネート5-30mm

事業実績・見込

◆製造

・生産能力：7,000t

・生産実績・見込

項目	上期実績	下期見込	通期見込
生産量（t）	1,106	1,708	2,814

◆販売

・販売実績・見込

項目	上期実績	下期見込	通期見込
売上高（百万円）	40	100	140
顧客数（社）	10	12	15

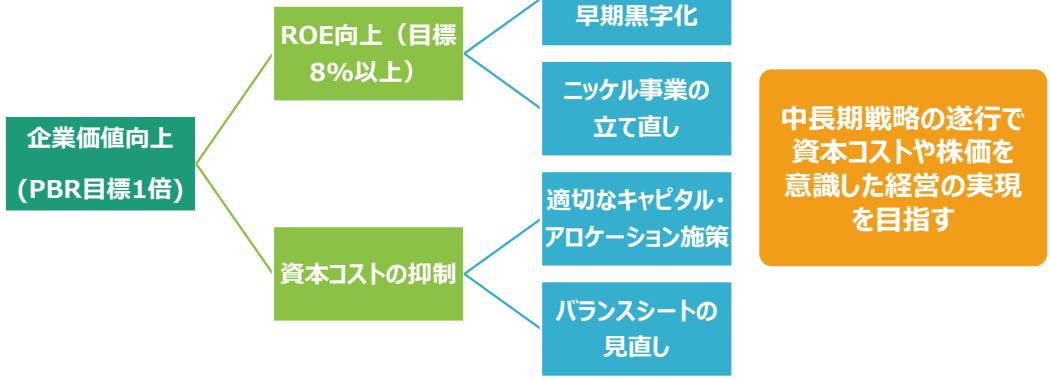
・副産物として得られるメタルの売却収入：37百万円（上期実績）

「中長期戦略PAMCOvision2031」の進捗状況

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

４．【ご参考】資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（進捗状況）

企業価値向上ストーリー(2025.4.25公表)



キャピタル・アロケーション(2025.4.25公表)

キャッシュイン	キャッシュアウト	
営業CF 約420億円	成長投資向け 約230億円	老朽化維持更新および新たな事業基盤への投資（ニッケル向け、多金属ノジュール向け） 約160億円
		機能材料向け（ベリリウム関連） 約70億円
	株主還元 約190億円	配当見込み 約190億円 ※当面、DOE4%目処を設定。

主な取り組み

自社株買いの実施	・2025年6月　実施（約36億円）
株式報酬制度導入	・2025年5月　導入
株主・投資家様との対話の実施（2027.3期）	・決算説明会：2回実施（2026年5月、11月） ・個別面談：5-6月 8回、8-9月 10回実施 ・個別面談での主な議論テーマ： 既存事業の収益改善策、中長期戦略の進捗 ⇒対話内容は定期的に取締役会へ報告 ⇒IR活動全般にフィードバック

進捗状況

老朽化維持更新・新規事業投資	・2026.3実績　4億円 ・2027.3予想　3億円
機能材料向け投資	・2026.3実績　15億円 ・2027.3以降の投資は検討中
株主還元（配当）	・2026.3　中間配当10億円、期末配当13億円 ・2027.3　中間配当11億円、期末配当11億円（予想）

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

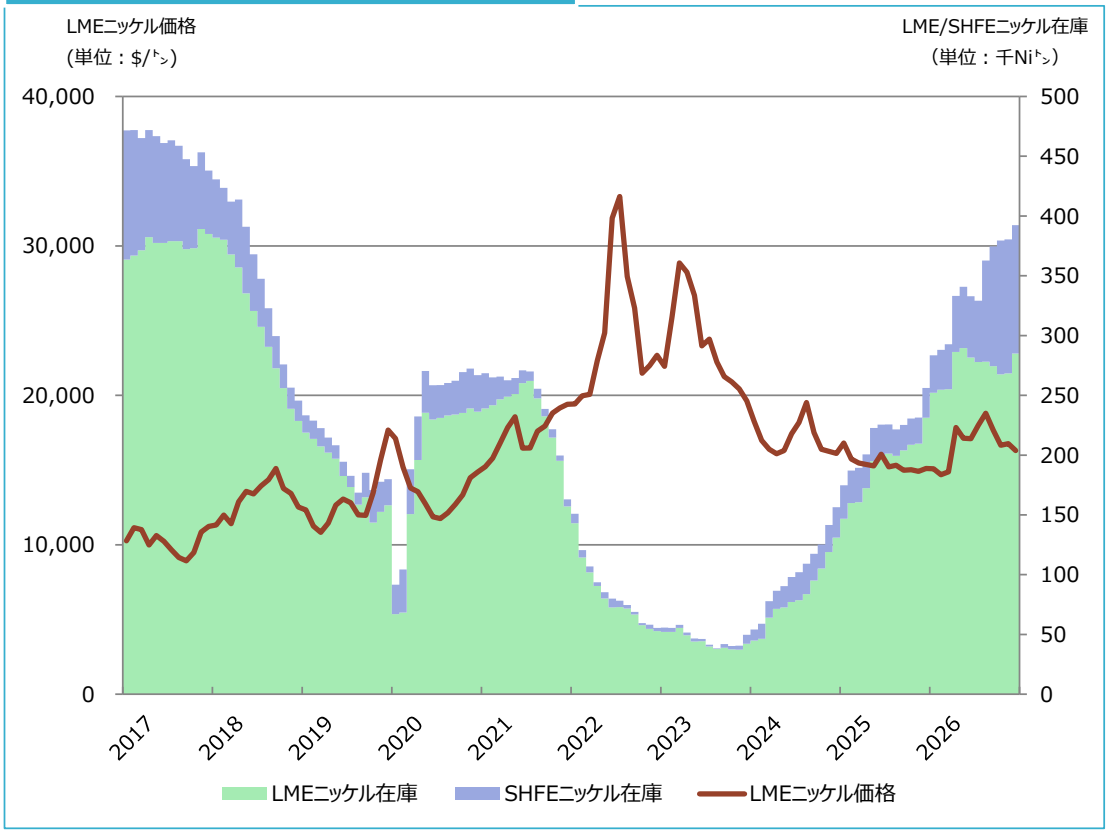
第4章
付録

Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

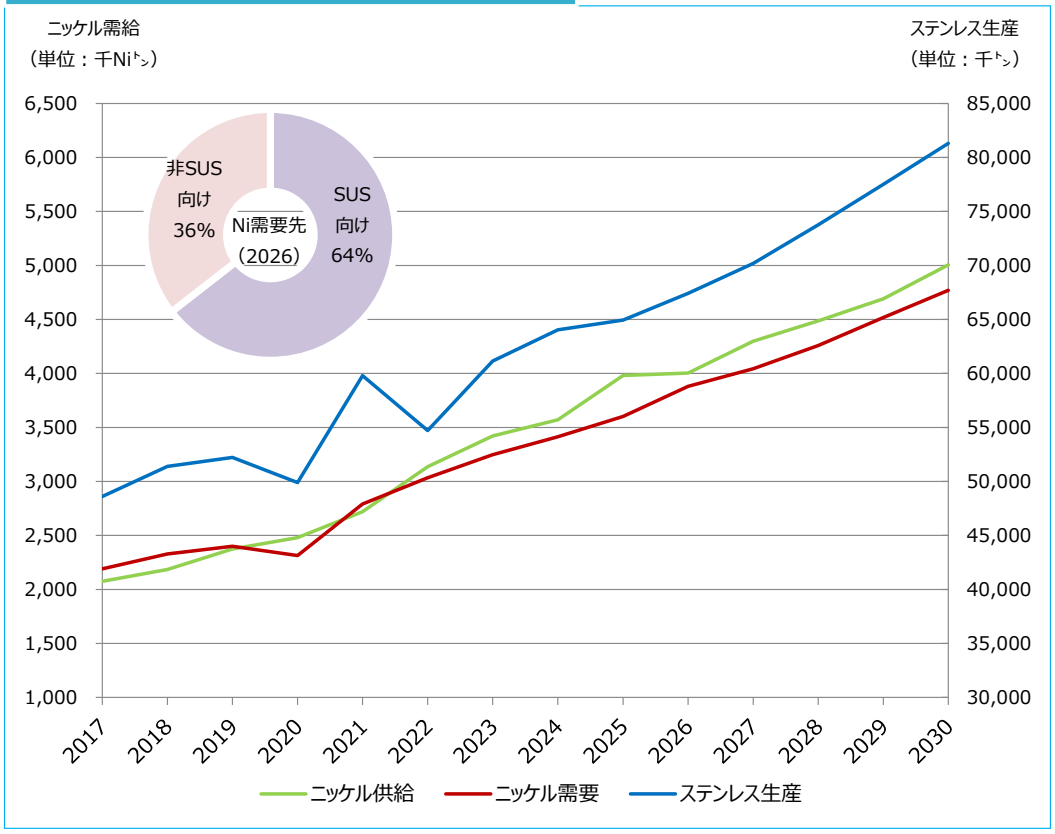
1．ニッケル市場の動向①

※当社調べ

ニッケル価格と在庫の推移



ステンレス生産とニッケル需給の推移



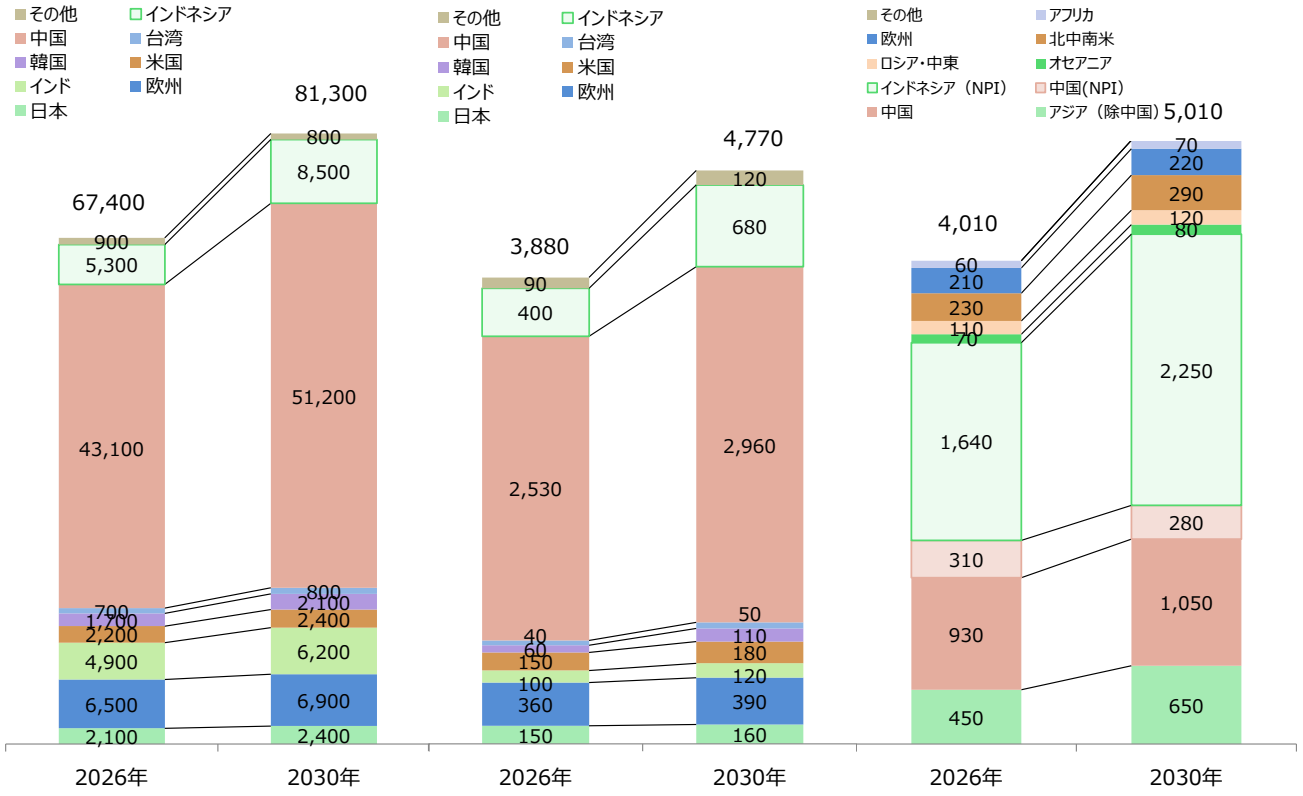
Copyright © PACIFIC METALS CO., LTD. All Rights Reserved.

1．ニッケル市場の動向②

※当社調べ

ステンレス生産見通し

（単位：千ﾄﾝ）



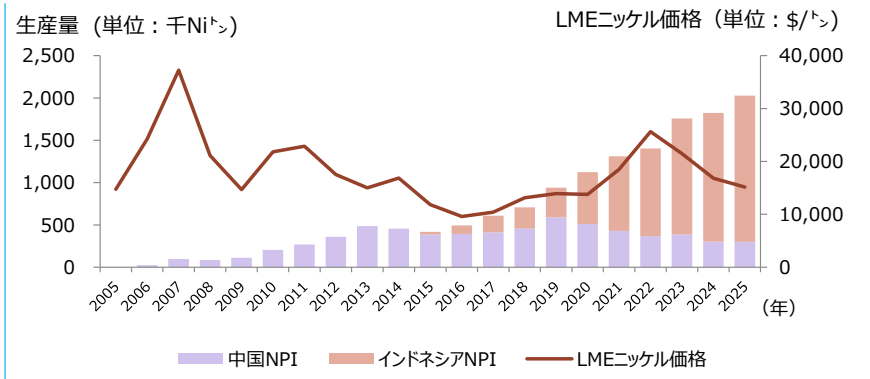
ニッケル需要見通し

（単位：千Niﾄﾝ）

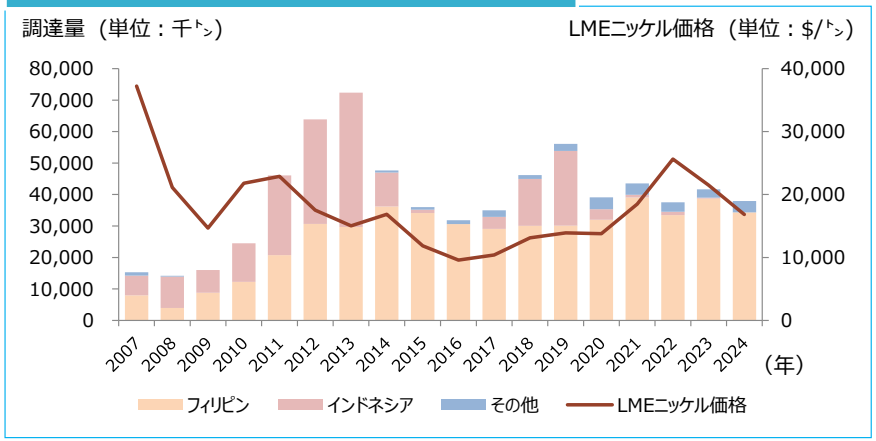
ニッケル供給見通し

（単位：千Niﾄﾝ）

ニッケル銑鉄（NPI）生産量の推移



中国のニッケル鉱石調達量の推移



大平洋金属株式会社

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。
従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいます様お願いいたします。
本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。